

る。将来的には語学演習室で利用可能とするように、PCの導入をはじめとした整備が必要である。

#### [ 4 ] 利用状況に関する補足

平成 14 年度よりPCの画面を液晶プロジェクターで大画面に投影できるようになり、internetのWeb上の豊富な教材を即時提示できるようになった。また、DVD及びDVがスピーカーと接続された為、洋画・洋楽・TVドラマ等を教材として利用可能になった。

また、H15年度後期に設置された IC カード入出システムにより、学生による放課後等のLL 教室利用が今後期待される。

### 3.5.3 電子計算機室の整備と利用状況

高度情報化社会における情報教育の重要性は増加の一步をたどっており、特にインターネット利用の普及により従来のリテラシー教育、プログラミング教育だけでなく、情報化社会に参画する態度を身につけさせることが重要になってきている。また、技術進歩もきわめて速く、日進月歩の状況であり、先端技術を身につけさせることが必要不可欠である。それらを踏まえて、全校的な情報教育および情報処理室の整備などを検討するために、平成 15 年度に情報教育センターを校内に立ち上げた。

今日コンピュータを利用した教育は様々な分野で利用されており、平成 15 年度より語学教育の一環としてALC社のNetacademyを導入し、語学教育にも電子計算機室は利用されている。

現在の電子計算機室のシステムは5年間リース制となっており、平成 13 年 4 月にup-to-dateなシステムに一新した。当電子計算機室は第一演習室及び第二演習室の 2 教室体制になっており、主に機械工学科、生物応用化学科、材料工学科、専攻科生のコンピュータ教育と専攻科生をはじめとした語学教育に利用されている。電子計算機室の業務は平成 15 年度に情報教育センターの管理へ移行した。

平成 15 年度は主に情報基礎教育の見直しと上記語学教育用ソフトの導入及びそれに伴う整備を行った。また、休み時間や放課後、学生が自由に電子計算機室を利用し、自学自習できる環境を整えるため、ICカードキーを導入した。

高等教育IT活用推進事業の一環として、長岡技術科学大学をはじめとした12機関で単位互換協定を締結し、e-learningによる他大学、高専の単位取得が可能になった。

#### [ 1 ] 整備状況

##### ( 1 ) ハード面

- ・ICカードキーによる「入室管理システム」を導入し、懸案であった学生の時間外利用を可能とした。
- ・第一演習室のクライアントPCにUSB音源ボード付きヘッドフォンを導入することで第一演習室、第二演習室とも語学教材を用いた講義やe-learningの受講が可能となった。

##### ( 2 ) ソフト面

- ・ALC社のNetacademyを導入した。同ソフトは校内LANに接続されており、電子計算機室以外からも利用できるが、本校において全学生が同ソフトにアクセスすることができることは電子計算機室が保障しており、電子計算機室の果たす役割がますます大きくなった。
- ・本校における全学的な情報基礎教育の確立のため、教科書の選定とその中の必修項目のリストアップを行った。これらの項目を平成 17 年度シラバスに反映させることで、全学的な情報基礎教育が図られる。

- ・教員の資質向上の一環として、電子計算機室を利用してプレゼンテーションソフト講習会を実施した。

## [ 2 ] 利用状況

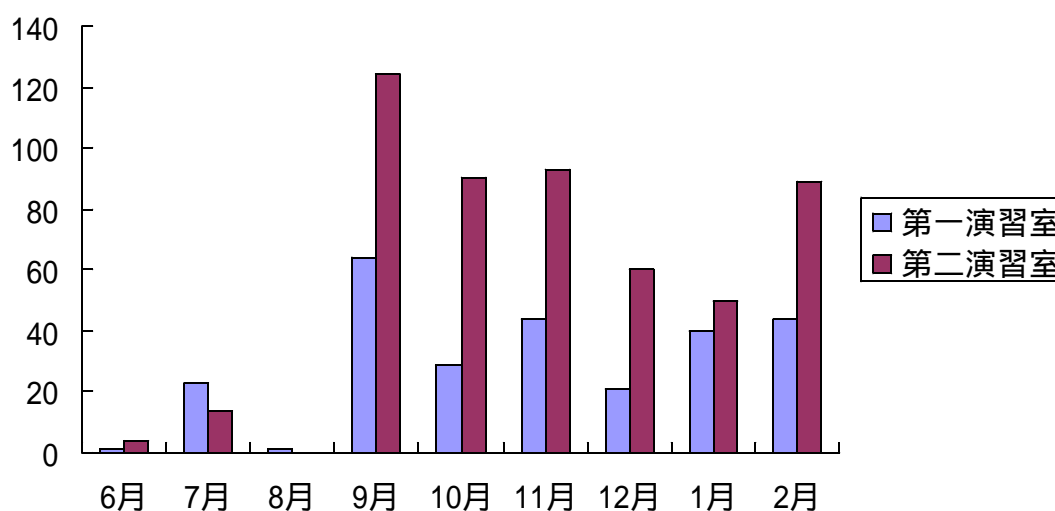
### ( 1 ) 講義

- ・第一演習室は年間630時間の利用があった。稼働率で53%程度であった。
- ・第二演習室は年間360時間の利用があった。稼働率で30%であった。  
第一演習室は50%以上と高い稼働率を示している。また、第二演習室も30%とやや低い稼働率であったが、語学教育による電子計算機室の利用が今後見込まれるため、稼働率は更に上昇することが見込まれる。

### ( 2 ) 時間外利用

平成15年度からICカードキーによる「入室管理システム」を導入した。そこで、本格的に稼働させた6月以降の学生が自主的に利用した時間外利用の月別の利用件数を下の図にまとめた。

図3.5.1 電子計算機室の時間外利用件数



稼働当初は学生の認知度が低かったせいか、少なかったが夏休み明けの9月以降利用件数が増加している。第一演習室は267件の記録が残っており、一日平均1名以上の利用が、第二演習室は524件の記録が残っており、一日平均2名以上の利用があった計算になる。平成16年度以降は更に利用の増加が期待できる。

## 3.5.4 図書館の整備と利用状況

### [ 1 ] 整備状況

- ・視聴覚機器  
閲覧室AV視聴コーナーに、平成4年6月設置されたビデオ視聴装置3台のうち2台を平成15年度にDVD/VTR視聴型に更新し、平成13年3月設置したCD/DVD装置1台と合わせて4台の視聴覚機器が設置されている。
- ・所蔵検索用端末及びインターネット用パソコン